

## 小規模事業者経営動向調査（2022年1月実施分）

山陽商工会議所

平成30年3月に認定を受けた「小規模事業者経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的発展のため経営実態やニーズ把握を重視し、個別事業所の経営状況分析の基礎データとして活用することを目的に、以下のとおり「小規模事業者経営動向調査」を実施した。

**対象者・回答件数** 山陽商工会議所の地区内の小規模事業者 30社  
**実施期間** 令和4年1月1日～令和4年1月31日

### 1. 回答者の属性

#### （1）性別

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
男性	25	83.3%	20	66.7%	-16.6%
女性	5	16.7%	10	33.3%	16.6%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

#### （2）年齢

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
20代	0	0.0%	1	3.3%	3.3%
30代	4	13.3%	3	10.0%	-3.3%
40代	5	16.7%	2	6.7%	-10.0%
50代	9	30.0%	7	23.3%	-6.7%
60代	6	20.0%	5	16.7%	-3.3%
70代以上	6	20.0%	12	40.0%	20.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

#### （3）従業員数（役員・家族従業員・パート・アルバイト等を除く）

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
0人	24	80.0%	18	60.0%	-20.0%
1人	1	3.3%	3	10.0%	6.7%
2人	0	0.0%	3	10.0%	10.0%
3人	2	6.7%	1	3.3%	-3.4%
4人	1	3.3%	0	0.0%	-3.3%
5人以上	2	6.7%	5	16.7%	10.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

(4) 業歴

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
5年未満	7	23.3%	4	13.3%	-10.0%
5年以上10年未満	1	3.3%	1	3.3%	0.0%
10年以上20年未満	1	3.3%	3	10.0%	6.7%
20年以上30年未満	4	13.3%	5	16.7%	3.4%
30年以上	17	56.7%	17	56.7%	0.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

(5) 業種

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
卸売業・小売業	7	23.3%	8	26.7%	3.4%
製造業	5	16.7%	5	16.7%	0.0%
建設業	5	16.7%	4	13.3%	-3.4%
飲食業	8	26.7%	9	30.0%	3.3%
サービス業	4	13.3%	4	13.3%	0.0%
その他	1	3.3%	0	0.0%	-3.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

## 2. 売上高の状況

山口県内でオミクロン株による感染拡大が急速に進む中、前年同期と比べて売上増加という回答は減少し、減少したという意見が増加した。

昨年後半より一旦、収束の兆しのあったコロナ禍が再び再燃したことで飲食店を中心に依然として厳しい状況が続くものと思われる。一方で他の小売業やサービス業からは、スマイルチケットにより売上が増加したという意見も聞かれた。

### (1) 1年前と比べて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
増加	7	23.3%	7	23.3%	0.0%
横ばい	15	50.0%	11	36.7%	-13.3%
減少	8	26.7%	12	40.0%	13.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

### (2) 半年前と比べて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
増加	6	20.0%	7	23.3%	3.3%
横ばい	13	43.3%	13	43.3%	0.0%
減少	9	30.0%	10	33.3%	3.3%
無回答	2	6.7%	0	0.0%	-6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

### (3) 半年後の見通し

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
増加	8	26.7%	6	20.0%	-6.7%
横ばい	11	36.7%	16	53.3%	16.6%
減少	9	30.0%	8	26.7%	-3.3%
無回答	2	6.7%	0	0.0%	-6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

### 3. 顧客数の状況

オミクロン株による感染急拡大に伴い飲食店を中心に顧客数が減少したことから増加を減少が上回る結果となった。一方、スマイルチケット等による需要喚起策の効果から厳しい状況にありながらも顧客数を増やした事業所もあり、業種によって明暗が分かれる結果となった。

#### (1) 1年前と比べて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
増加	7	23.3%	6	20.0%	-3.3%
横ばい	13	43.3%	14	46.7%	3.4%
減少	8	26.7%	10	33.3%	6.6%
無回答	2	6.7%	0	0.0%	-6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

#### (2) 半年前と比べて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
増加	5	16.7%	8	26.7%	10.0%
横ばい	14	46.7%	13	43.3%	-3.4%
減少	8	26.7%	9	30.0%	3.3%
無回答	3	10.0%	0	0.0%	-10.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

#### (3) 半年後の見通し

	前回 (R03.07)		今回 (R03.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
増加	6	20.0%	5	16.7%	-3.3%
横ばい	10	33.3%	17	56.7%	23.4%
減少	11	36.7%	8	26.7%	-10.0%
無回答	3	10.0%	0	0.0%	-10.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

#### 4. 資金繰り状況

前回調査時には好転・悪化ほぼ同数であったが、今回の調査では長引くコロナ禍により資金繰りが徐々に苦しくなってきたという意見が多く悪化したという回答の増加が目立った。

新型コロナウイルス感染症貸付やセフティーネット貸付等の返済が始まれば更に悪化するという意見も多く予断を許さない状況である。

##### (1) 1年前と比べて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
好転	5	16.7%	3	10.0%	-6.7%
横ばい	17	56.7%	16	53.3%	-3.4%
悪化	8	26.7%	11	36.7%	10.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

##### (2) 半年前と比べて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
好転	5	16.7%	1	3.3%	-13.4%
横ばい	17	56.7%	20	66.7%	10.0%
悪化	7	23.3%	9	30.0%	6.7%
無回答	1	3.3%	0	0.0%	-3.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

##### (3) 半年後の見通し

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
好転	5	16.7%	2	6.7%	-10.0%
横ばい	18	60.0%	20	66.7%	6.7%
悪化	6	20.0%	8	26.7%	6.7%
無回答	1	3.3%	0	0.0%	-3.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

## 5. 雇用状況

前回調査時には、新型コロナウイルス感染症の影響により飲食店を中心にパート・アルバイトの非正規雇用者については余剰という回答が目立ったものの、今回の調査ではパート・アルバイトの非正規雇用者については人出不足という回答が目立った。アフターコロナの時代にむけ長引くコロナ禍で離職した非正規雇用者の再雇用が順調に進むか課題である。

### (1) 正社員

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
人手不足	4	13.3%	1	3.3%	-10.0%
適切	17	56.7%	21	70.0%	13.3%
余剰	1	3.3%	2	6.7%	3.4%
無回答	8	26.7%	6	20.0%	-6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

### (2) パート・アルバイト

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
人手不足	3	10.0%	4	13.3%	3.3%
適切	20	66.7%	21	70.0%	3.3%
余剰	5	16.7%	5	16.7%	0.0%
無回答	2	6.7%	0	0.0%	-6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

## 6. 新商品・新サービスの状況

新商品・新サービスに関する取り組みについて前回同様に約3分の1の事業所が「顧客ニーズの把握」を課題としているとの回答であった。また、取扱い商品・サービスの売れ筋分析については約半数の事業者が実施しており、見直しも行っているとの回答であった。

### (1) 新商品・新サービスの開発・販売の頻度について

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
数ヶ月ごと	9	30.0%	8	23.5%	-6.5%
半年ごと	2	6.7%	6	17.6%	10.9%
1年ごと	4	13.3%	7	20.6%	7.3%
数年ごと	3	10.0%	4	11.8%	1.8%
行っていない	11	36.7%	3	8.8%	-27.9%
その他	0	0.0%	6	17.6%	17.6%
無回答	1	3.3%	0	0.0%	-3.3%
合計	30	100.0%	34	100.0%	

### (2) 新商品・新サービスの開発・販売に関する課題（複数可）

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
顧客ニーズの把握	9	29.0%	9	28.1%	-0.9%
開発体制の整備	4	12.9%	4	12.5%	-0.4%
人材の教育・採用	1	3.2%	1	3.1%	-0.1%
資金調達	3	9.7%	3	9.4%	-0.3%
専門知識の不足	2	6.5%	2	6.3%	-0.2%
問題はない	12	38.7%	12	37.5%	-1.2%
その他	0	0.0%	1	3.1%	3.1%
合計	31	100.0%	32	100.0%	

### (3) 取扱い商品・提供サービスの情報の売れ筋分析について

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
商品・サービス単位	9	30.0%	9	30.0%	0.0%
商品分野・サービスごと	5	16.7%	4	13.3%	-3.4%
分析していない	14	46.7%	14	46.7%	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
無回答	2	6.7%	3	10.0%	3.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

(4) 取扱い商品・提供サービスの見直しについて

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
全商品・全サービス	6	20.0%	3	10.0%	-10.0%
特定の商品・サービス	9	30.0%	10	33.3%	3.3%
行っていない	13	43.3%	15	50.0%	6.7%
その他	2	6.7%	0	0.0%	-6.7%
無回答	0	0.0%	2	6.7%	6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	

(5) 商品情報の入手先について (複数可)

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
仕入れ先から	14	30.4%	16	33.3%	2.9%
同業他社から	7	15.2%	5	10.4%	-4.8%
顧客から	8	17.4%	12	25.0%	7.6%
商工会議所から	3	6.5%	3	6.3%	-0.2%
セミナー等から	4	8.7%	3	6.3%	-2.4%
インターネット	7	15.2%	8	16.7%	1.5%
その他	3	6.5%	1	2.1%	-4.4%
合計	46	100.0%	48	100.0%	

(6) 顧客の声、意見の収集について

	前回 (R03.07)		今回 (R04.01)		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
直接話している	22	61.1%	13	48.1%	-13.0%
アンケートを実施している	1	2.8%	0	0.0%	-2.8%
SNSで収集している	3	8.3%	4	14.8%	6.5%
自社ホームページから	2	5.6%	2	7.4%	1.8%
仕入れ先から	2	5.6%	6	22.2%	16.6%
同業他社から	4	11.1%	2	7.4%	-3.7%
商工会議所から	2	5.6%	0	0.0%	-5.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	36	100.0%	27	100.0%	



## 7. 景況感

年明け早々にオミクロン変異株による感染がかつてないスピードで拡大し2月1日以降は県内全域がまん延防止等重点措置の対象地域に指定された。一方、市の消費喚起施策としてスマイルチケットが配布されたことや過去の変異株と比べてオミクロン株は重症化しにくいことから、景況感（DI）は1年前と比べて±0ptと変わらず、半年前と比べて+7.2ptの上昇になった。

また、半年後の見通しは2月1日から県内全域がまん延防止重点措置の対象地域となったことや、各種の消費喚起施策が中止若しくは一時中断されたことから悪化するとの見方が強く景況感（DI）は▲6.2ptの下落となった。

### （1）1年前と比べて

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
好転	5	16.7%	4	13.3%	-3.4%
横ばい	11	36.7%	13	43.3%	6.6%
悪化	14	46.7%	13	43.3%	-3.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%	
DI	35.0%		35.0%		0.0%

### （2）半年前と比べて

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
好転	4	13.3%	5	16.7%	3.4%
横ばい	11	36.7%	14	46.7%	10.0%
悪化	14	46.7%	11	36.7%	-10.0%
無回答	1	3.3%	0	0.0%	-3.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%	
DI	32.8%		40.0%		7.2%

### （3）半年後の見通し

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
好転	6	20.0%	1	3.3%	-16.7%
横ばい	12	40.0%	20	66.7%	26.7%
悪化	10	33.3%	9	30.0%	-3.3%
無回答	2	6.7%	0	0.0%	-6.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%	
DI	42.9%		36.7%		-6.2%



## 8. 貴社の経営課題は何ですか？（複数可）

前回同様、経営課題として多くの事業所が「販路・顧客開拓」、「収益力向上」、「新商品・新サービスの開発」。「人材育成・確保」を挙げた。今回の調査では「収益力向上」を経営課題として掲げる事業者が増加した。また、ポストコロナを見据え「事業再構築」を課題として挙げた事業者もあった。

	前回（R03.07）		今回（R04.01）		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
販路・顧客開拓	7	15.2%	10	17.9%	2.7%
収益力の向上	8	17.4%	14	25.0%	7.6%
生産性の向上	3	6.5%	3	5.4%	-1.1%
新商品・新サービスの開発	7	15.2%	8	14.3%	-0.9%
人材育成・確保	7	15.2%	7	12.5%	-2.7%
会計・税務	2	4.3%	1	1.8%	-2.5%
事業承継	1	2.2%	4	7.1%	4.9%
労務問題	2	4.3%	0	0.0%	-4.3%
消費税軽減税率の対応	2	4.3%	3	5.4%	1.1%
キャッシュレス決済導入	0	0.0%	2	3.6%	3.6%
働き方改革の対応	2	4.3%	0	0.0%	-4.3%
IT導入・活用	3	6.5%	2	3.6%	-2.9%
リモートワーク	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
事業再構築*	0	0.0%	2	3.6%	3.6%
その他	2	4.3%	0	0.0%	-4.3%
合計	46	100.0%	56	100.0%	